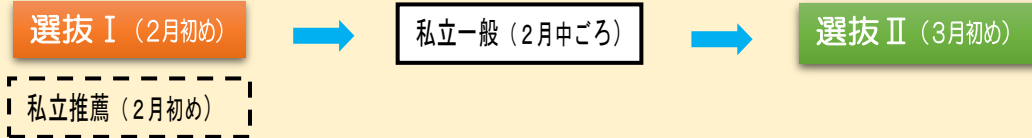


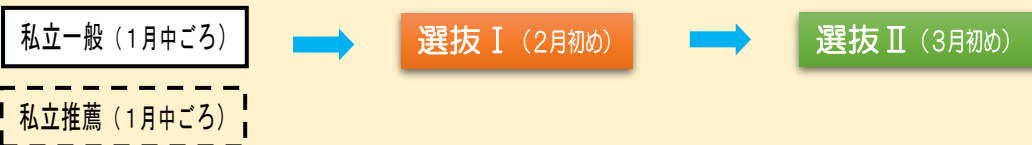
広島県公立高校入試のしくみ

公立高校を第一志望とする場合の一般的な受検の流れ

【広島地区】



【東広島・呉・福山地区等】



※選抜Ⅰ入試に合格した場合は、それ以後に実施される私立一般・選抜Ⅱ等は受検しない。

★選抜Ⅰ (推薦入試)

定員枠 普通科＝定員の20%まで、専門科（コース）＝定員の50%まで

合否判定 **調査書**（内申点）・**小論文**・**面接**・**実技検査**（一部の学科・コースで実施）等で総合的に判定。

調査書 国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保体・技家の9教科を絶対評価5段階で評定。中1から中3まで合計135点満点。

選抜Ⅰ調査書	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家	合計
1年生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	45
2年生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	45
3年生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	45
合計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	135

★選抜Ⅱ (一般入試)

定員枠 定員から選抜Ⅰで内定した生徒数をひいた人数

合否判定 **調査書**（130点満点）と**学力検査**（125点満点）の合計で判定。（面接を実施する学校もある。）

調査書 国語・社会・数学・理科・英語の5教科は絶対評価5段階のまま、**音楽・美術・保体・技家の4教科は絶対評価5段階を2倍にする。**中1から中3まで合計195点満点に3分の2をかけて、130点満点に換算する。

選抜Ⅱ調査書	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家	合計
1年生	5	5	5	5	5	10	10	10	10	65
2年生	5	5	5	5	5	10	10	10	10	65
3年生	5	5	5	5	5	10	10	10	10	65
合計	15	15	15	15	15	30	30	30	30	195

(5点×5教科 + 10点×4教科) × 3学年 × 2/3 = 130点

学力検査

国語・社会・数学・理科・英語（各教科50点満点）
5教科合計250点満点に2分の1をかけて、125点満点に換算する。

50点 × 5教科 × 1/2 = 125点

調査書(内申点) 130点	+	学力検査 125点	=	判定資料 255点
------------------	---	--------------	---	--------------

調査書 : 学力検査 = (ほぼ) 1 : 1



- ★ 調査書(内申点)は、中1から中3までの全教科の成績を合算する。
- ★ 選抜Ⅱでは、実技4教科の調査書の評点が2倍になる。

高校によって定員の20%の枠内で、独自に調査書と学力検査の割合を変更する場合がある。
(平成29年度入試の状況)

- 「学力重視型」で合否判定
 学力：調査書=9：1【基町(普)・大門(普)・三次・庄原格致】
 学力：調査書=8：2【国泰寺(普)・舟入(普)・皆実(普)・安古市・高陽・広・呉宮原・呉三津田・忠海・尾道北・府中・廿日市・廿日市西・海田(普)】
 学力：調査書=7：3【県商・祇園北・高陽東・呉商業・呉市立呉・賀茂】
- 「調査書重視型」で合否判定
 調査書：学力=8：2【沼田(普)・竹原】 調査書：学力=7：3【可部・河内】

高校によっては「傾斜配点」を実施している。
(平成29年度入試の状況)

- 数学・英語の得点を2倍(1.5倍)にして換算
 → 2倍【国泰寺(普)・舟入(普)・皆実・観音・井口・観音・沼田(普)・可部・高陽東・五日市・美鈴が丘・広・呉市立呉・廿日市・廿日市西】 1.5倍【祇園北(普)】
- 理科・英語の得点を2倍にして換算 → 【国泰寺(理数)】
- 数学・理科の得点を2倍にして換算 → 【大門(理数)】 1.5倍【祇園北(理数)】
- 英語の得点を2倍にして換算 → 【安芸府中(国際)】

広島県の公立高校の一般学力検査問題はどの学校も共通だが、「自校作成問題」を実施する学校がある。
(平成29年度入試の状況)

- A 一般学力検査問題に加えて実施
 【国泰寺(理数)=数学】 【安古市, 安西, 呉三津田, 尾道北, 三次=数学・英語】 【尾道東=英語】
- B 一般学力検査問題の全部を置き換えて実施 【福山誠之館=数学】
- C 一般学力検査問題の一部を置き換えて実施 【廿日市=数学】